

単元構想のポイント

〈実践テーマ〉

拠点フィールドで繰り返し活動することによって、  
知的な気づきが深まる生活科の授業

単元名 (題材)	第1学年 「わくわくどきどき 1・2GO!」 32時間	実施 時期	5、7、10 11、1月
-------------	--------------------------------------	----------	-----------------

- ① 地域環境や児童の実態を生かした学習活動展開の工夫
  - イメージマップの活用
  - 拠点フィールドでの繰り返し活動とポイント（重点）活動
  - 1、2学年、鈴木学級合同学習
- ② 児童の主体的な活動や直接かかわる体験の重視
  - 一人一人の思いや願いを生かした体験活動
  - 新たな気づきの見取りと支援
  - 多様な人々との情緒的なかわり
- ③ 意欲や自信につながる評価の工夫
  - 自分のよさを味わえるようにしていく多様性に応じた振り返りの場
  - 友だちとの学び合いの共有化
  - ポートフォリオの活用

1 実践の構想

〔単元の目標〕

- 角田牧場、二荒山神社、大橋公園、伊南川などの地域の自然や施設、動植物などに関心を持ち、意欲的に遊んだり、かかわろうとしたりする。  
(関心・意欲・態度)
- 1、2年生同士、鈴木学級のM君（障害のある子供）との交流を通して、自分も友達もそれぞれに特徴やよさがあることに気付いたり、思いやりをもったりすることができる。(気づき)
- 身近な南郷の自然や人々のよさ、四季の変化に気付くことができる。(気づき)
- 南郷の自然、季節や行事にかかわる活動を行い、気がついたことを、絵や文に表したり、発表したりすることができる。(思考・表現)

〔授業の展開〕 イメージマップ

